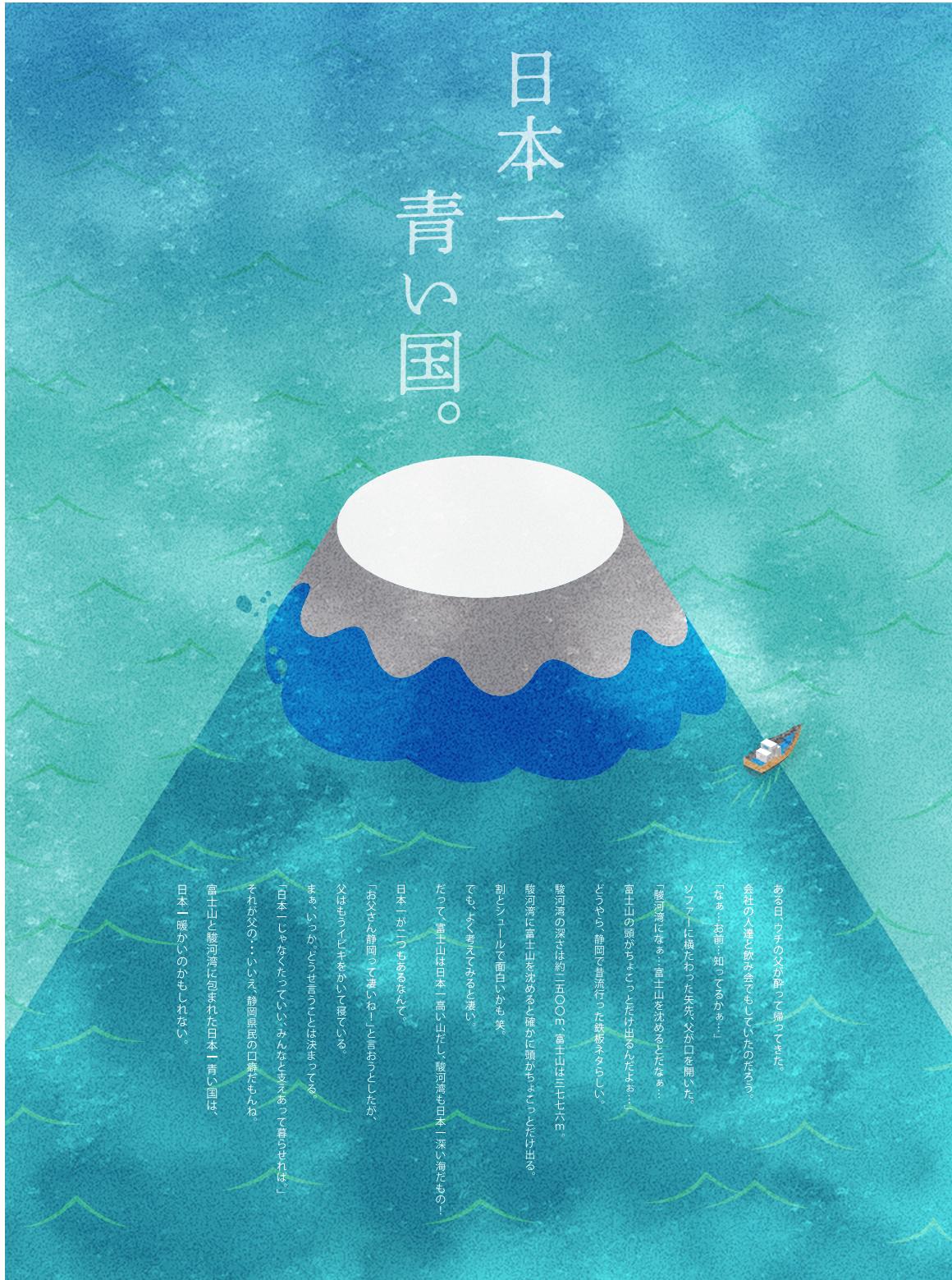


■ グランプリ 「日本一青い国。」

鈴木俊平（静岡デザイン専門学校）



ある日、ウチの父が酔つて帰ってきた。
会社の人達と飲み会をもつていたのだろう。

「なあ、お前、知ってるか、あ…」

ソファーに横たわった矢先、父が口を開いた。

「駿河湾になる、富士山を洗めるとだなあ…」

富士山の頭がちょっとだけ出るんだよお、」

どうやら、静岡で昔流行った鉄板ネタらしい。

駿河湾の深さは約二五〇〇m、富士山は三七七六m。

駿河湾に富士山を洗めると確かに頭がちょっとだけ出る。

割とシユールで面白いかも、笑。

でもよく考えてみると、悪い。

だって、富士山は日本一高い山だし、駿河湾も日本一深い海だもの！

日本一が二つもあるなんて

「お父さん、静岡って美しいね！」と言おうとしたが、

父はもうイビキをかいと寝ている。

まあ、いつか。どうせ言つことは決まってる。

「日本一じゃなくていい、みんなもまああって暮らせれば。」

それが父の…いいえ、静岡県民の口癖たもんね。

富士山と駿河湾に包まれた日本一青い国は、

日本一暖かいのかもしれない。

【作品コンセプト】

静岡の人達は他の県と比べ競争心がなく、人を踏み倒して上に登ろうとはせずに、みんなで支えあって物事を進めていくという暖かい特色があり、その特色をむかし静岡で流行った鉄板ネタとかけあわせて広告にしました。